

第4学年図画工作科 年間学習計画

目標

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、作りだす喜びを味わうようにします。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにします。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにします。(全 60 時間)

年間学習計画

学期	題材名	学習内容
前	絵の具のふしぎ	水でぬらした画用紙に、いろいろな色を使って思いのままにかく。 画用紙の上で色と色とが混ざり合ったり、重なったりするときの絵の具の変化を楽しむ。 絵の具と水がつくり出した色の変化から、想像を広げ、その効果を生かして絵に表す。
	ざいりょう物語	身の回りにある材料の特徴を感じながら作品を作る。
	ゆめを広げて	夢の世界について想像しながら、つくってみたい作品をイメージする。 思い付いたイメージを表せるように、色や模様、飾りなどを工夫して作る。
期	ひもでつくろう	ねん土のひもを丸めたり、のばしたり、つけたしたりして、想像を広げて作品にする。
	キラキラ光る絵	材料から発想して、どのように表すか考える。 材料の形、色、材質感などを生かして、工夫しながら表していく。 友だち同士で作品を見せ合いながら、工夫したところ、知ってほしいことなどを紹介する。
	へん身パッ!	自分がどんなものに変身したいかを考えたり、光の効果を考えたりする。 透明シートなどに、変身したいものや様子を表す。
	お話の世界(ねん土)	どんなお話が始まるのか自由に想像しながら、ねん土で立体に表す。
	コロコロガラート	つくり方や遊び方を理解し、作品づくりに興味をもつ。 ビー玉が転がる仕組みを理解し、どのようにしたら楽しい転がり方をするかを考え工夫して作る。 友だちと作品を交換したりして遊び、作品の特徴や工夫した点を確かめ合ったりする。
	きょうかしよびじゅつかん	身近な場所や建物で、想像を広げるところを見つけたり、視覚資料から調べたりする。 場所や建物の特徴の面白さを話したり、友だちの発表に共感したりする。 自分なりに想像をふくらませて、場所や建物を材料や表現

		方法を考えて表す。
後	わすれられない日	印象深い思い出の場면을思い浮かべながら、形や色を工夫して絵に表す。
	ワンダーランドへようこそ	お話の状況や場면을自由にイメージし、想像を広げながら今までに経験してきた造形活動を組み合わせて表現を深める。
	ハッピーカード	教科書の仕組み図を見て、つくり方を理解し、必要な材料を用意する。 だれにどんなことがらを伝えるかを決めて、その内容とどの仕組みを生かしたらよいかを考え、アイデアを具体化する。 自分の意図が伝わるように、表し方のアイデアを練って製作する。
	ぬのから生まれた	いろいろな布を集め、それぞれの素材の特徴の違いに気づいたり、感じたりする。 それぞれの布から思いついた活動を楽しみながらつくりたい物を思いつく。 思いついたことをもとに、つくり方を工夫して表す。 作品を並べて紹介し、友だちの作品のよさを鑑賞し合う。
期	お話の世界(絵)	今までの学習経験をもとに、楽しいお話の絵にすることを 知る。 自分でお話をつくりながら、紙にあけた穴などから絵に表したい場面を見つける。 場面の様子がよく表れるように、絵を貼ったり、画用紙を開くようにしたりして、お話が楽しく広がるように工夫をする。
	木から生まれた世界(版画)	日頃の生活などで印象に残ったことなどを思い出して、表したい場面を決める。 版木に下絵をかき、彫るところを決める。丸刀を中心に彫り方を工夫して表していく。自分がどんなものに変身した いかを考えたり、光の効果を考えたりする。 透明シートなどに、変身したいものや様子を表す。

評価について

自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。

(造形への関心・意欲・態度)

感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。(発想や構想の能力)

手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。(創造的な技能)

身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じとったりしている。(鑑賞の能力)

取り組みの様子(活動・発言・関わりなど)や感想カード、作品(思いや意図・形や色の工夫・材料の生かし方など)などにより評価し、指導に生かします。